

○ 有松重要伝統的建造物群保存地区に選定 官報出る (7月25日)

文化財保護法第144条第1項の規定により、次に掲げる伝統的建造物群保存地区を重要伝統的建造物群保存地区として選定したので告示する。文部科学大臣 馳 浩

名称：名古屋市有松伝統的建造物群保存地区 (文部科学省告示第104号)

○ 有松まちづくりの会 (7月25日)

①名古屋市近隣市町村長 懇談会の開催について (8月22日、名古屋市主催)

名古屋市と日常的な関わりが深い近隣38市町村長が一堂に会し、意見・情報の交換を行い、相互協力・連系活動を進めるための懇談会が有松の絞会館で開催されます。今回のテーマは「歴史から再発見する圏域のつながりと魅力」です。

重伝建選定なった有松の町並みの視察も含まれており、好印象で帰られることが期待されます。

②安城七夕まつりに参加 (8月5・7日、事業部)

安城の碧信本店前で有松をPRしますが、今年は新たに作った「有松の町並み 重伝建に選定」のチラシとパネル4枚および絵手紙で、宣伝してきます。

○ 重伝建推進委員会 (7月25日)

①重伝建選定記念シンポジウム (10月2日14:00～、歴まち室主催)

有松の町並みの魅力を再確認し、町並みを継承していくための取り組みなどについて考える。

- ・会場：有松小学校 体育館
- ・内容：オープニングセレモニー、開会式、選定経過報告、基調講演、パネルディスカッション

②重伝建選定祝賀行事実行委員会

1) 実行委員会発足 (7月11日)

有松を挙げての行事とするため、商工会や絞組合など関係8団体・町内会連合会・保存地区3町内会のメンバーを加えた実行委員会が発足しました。実行委員長に小澤武夫町内会連合会会長が就任し、各行事担当者も決め、事業を推進することになりました。

2) 第2回実行委員会 (7月25日)

各行事担当から進捗報告がされた。計画変更は下記2点。

- ・提灯製作：10月1日には間に合わない。提灯行列は11月の晩秋の有松を楽しむ会で実施予定。
- ・記念植樹：桜の植樹時期は10月では早く、11月に実施予定。

③有松の伝統的建造物について

名古屋市は、今年2月有松を伝統的建造物群保存地区に指定しましたが、その伝統的建造物として特定されたものを今後逐次紹介していきます。今回は、件数のみを紹介します。

- ・建造物：主屋、土蔵、茶室、塀など 計103件
- ・石積：8件、石造物：3件、石碑：3件、灯籠：1対、樹木・竹林：6件、水路：1件

○ あいちヘリテージマネージャー養成講座開かれる (7月2日)

P-2

愛知建築士会では、文化的建物を保存し、活用を図る事の助言ができる建築士(ヘリテージマネージャー)を養成する講座を平成22年から開講しています。受講者は2年間で15回の講義を受講し、受講が終了するとヘリテージマネージャーに登録されます。現在既に100名が登録されています。今回の有松での講義は、第五期養成講座の後期分です。午前中は竹田邸3番蔵で有松重伝建の修景基準などの講義を受け、その後町に出て文化財の建物の見学を行いました。午後は建築についての専門的な講義を受けました。

(ヘリテージマネージャー：歴史的建造物保存活動推進員)



県指定文化財の服部家を見学

○ 有松絞り講演会 開かれる (7月3日)

為三郎記念館で開催されている竹田耕三追悼展のイベントとして有松絞り講演会がルブラ王山で開かれました。パネリストとして有松の服部豊氏、竹田嘉兵衛氏、成田治氏が登壇され、家田崇氏(南山大学教授)の司会でディスカッションが進められました。

絞り産業によってできた有松の歴史、辻が花染めの謎や本藍染めの色の複雑さ、凹凸のある布の造形が世界にも注目されていることなどが詳しく説明され、耕三氏の提案で実現した国際絞り会議は、今年第10回を迎えるまでになっていることにも話題が広がりました。

重伝建選定への流れについては、有松の町並みを残すべきだと地元を説得した故石川忠臣氏(朝日新聞)のエピソードや、「有松まちづくりの会」の結成、保存について運動をすすめてきたものの、住民と行政が一致した運動をするまでには約30年の年月が重ねられ、今回念願かなって重伝建の選定が受けられたことなどが話されました。

今後は、町の宝である絞り・重伝建になった町並み・無形民俗文化財の山車まつりについて情報を発信し、観光に力を入れ取り組む必要性が提言されました。



講演会風景

○ 名古屋親子いけばな教室 開校 (初回 7月3日)

花をいけることの楽しさを味わってもらうため、今年もコミセンを会場に、親子いけばな教室が開校されました。

初回は、「花ばさみ」の使い方や花の軸を水の中で切る「水切り」、草花の「日表」「日裏」などを習いながら、実際に花材を水盤の中の剣山に挿していきました。そして完成したいけばなと一緒に写真に納まっていた。

この教室の講師は「いけばなスペース」の広瀬典丈さんで、10月までに8回開催され、作品発表会は、11月の「有松いけばなスペース花展」で行われる予定です。



いけばな教室風景

○ 有松の歩行者・通行調査の実施（7月3日）

井澤知且先生（名古屋学院大学）と海道清信先生（名城大学）による「有松来訪者調査」が行われました。

調査内容は、「まちかどインタビュー」「歩行者行動調査」「交通量調査」でした。

調査員（学生）は、服部良也家を拠点に、猛暑の中、有松東海道に立ち、それぞれ調査項目に沿って、インタビューや歩行状況等調査を行っていました。

気候が違う秋にもう一度同じ調査をし、今年年初に行った有松学区住民意識調査とあわせて分析し、有松のまちづくりに役立つ提言を行ないたいと、井澤先生は話していました。



まちかどインタビュー風景

○ 有松あないびとの会 表彰される（6月14日）

有松あないびとの会に、愛知県観光協会から「ボランティアガイド活動を通じて観光事業の推進に寄与した」ことにより感謝状が授与されました。

有松あないびとの会の昨年の活動実績は、3685名のお客様を延べ245名のあないびとが案内しました。

有松あないびとの会は、平成15年に発足し、現在会員は38名います。

重伝建選定なった有松には、今後訪問客の増加が予測されますが、受け入れ態勢は整っていると思われます。



○ 東丘小学校 有松探検を実施（7月11日）

東丘小学校5年生103名が「総合的な学習」の一環で、『有松探検』と題して12班に分かれ、有松あないびとの会の案内で、町並みを探索しました。

藍染川の説明では、名の由来を知っている児童がいたことに驚かされ、山車会館では立派な山車を見学、竹田邸ではご当主自らが出迎え、屋敷や庭の説明もいただき貴重な体験となりました。最終探検地となった有松天満社では、鳥居や常夜灯および石段の数を数えたり、奉納されている臥牛や鶯（うそ）などのいわれに関心を持ったようです。



竹田邸当主の説明を聞く

まとめでは、子ども達から「有松の町並みを人々が大切に守ってきた」「町並みに防火の工夫が見られる」等といった感想が出ました。

翌日には『絞り体験』を学校で行うとのこと。有松のことを知る良い機会になったと思います。

○ 西町の町屋 改修・耐震工事始まる (7月9日)

P-4

西町の祇園寺前（長坂道入口横）に建っている旧高津家の改修工事の地鎮祭が行われました。この建物は伝統的建造物に特定されており、有松が重伝建に選定された後の第1号の改修家屋となります。

工事の内容は、検討開始時期からして「伝建地区」の適用でなく、「有松まちなみ保存要綱」適用ですが、伝建地区の検討も最終段階でしたので、歴まち室と十分意見を擦り合わせ、外観は修理基準や修景基準を考慮した改修内容と思われます。内部は住居としての改修や耐震補強が実施されます。



地鎮祭が行われた旧高津家

○ 「パソコンショップ99」開店

パソコン修理の専門店が有松駅南に開店しました。社長の堀内一輝さんは『店の運営の基本方針として、持ち込まれたパソコンは、新品をお奨めするのではなく、必ず直してお返しすることになっています。お客様は50才以上の方が多く、使い慣れたパソコンを変えたくないことが理由です。また、Windows 10を7に戻してほしいお客様もいます。』と話していました。

電話番号：0120-8354-99



パソコンショップ99

○ 催事・行事の予定

- ・8月5・7日 15:00 安城七夕まつり「重伝建のまち有松」をPR 碧信本店前 まちづくりの会
- ・8月07日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- 〃 13:30 名古屋親子いけばな教室③ コミセン 広瀬典丈
- ・8月08日(月) 09:30 まるはちの日協賛「夏休み親子ふれあい絞り教室」 絞会館2F大会議室
- 〃 10:00 まるはちの日協賛「紙芝居とけん玉」 絞会館2F小会議室
- 〃 17:00 第3回 祝賀行事実行委員会 コミセン
- 〃 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・8月21日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・8月22日(月) 14:00 第31回 名古屋市近隣市町村長懇談会 絞会館 名古屋市
- 〃 18:00 重伝建推進委員会 コミセン 有松まちづくりの会
- 〃 19:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- ・8月23日(火) 18:00 有松桶狭間観光振興協議会役員会 絞会館
- ・8月28日(日) 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
- ・8月29日(月) 17:00 第4回 祝賀行事実行委員会 コミセン

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 副会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索